

東京外かく環状道路の建設促進を求める緊急決議

東京外かく環状道路は、環境改善効果、物流コストの削減、国際競争力の向上など、首都東京のみならず広く国全体に便益が及ぶ重要な幹線道路である。

外環の整備は、都心に流入する通過交通を分散させることにより、首都東京の最大の弱点である交通渋滞を解消するとともに、環境改善効果においても、CO₂は年間約30万トン、浮遊粒子状物質はペットボトル約20万本分が削減されるなど大きな効果がある。その整備による費用対便益(BバイC)は「二・九」と、全国でもトップレベルの道路である。

さらに、首都圏の発展を支え、国際競争力を回復させるためにも、空港、港湾、道路等の連携により交通・物流ネットワークを強化する必要があり、そのためには外環の整備が不可欠となっている。

そうした中、外環は、本年五月に事業化されたものの、補正予算の見直しにより、測量及び試験費は認められたが、用地及び補償費は執行停止となっている。

我々、東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議及び東京都議会外かく環状道路建設促進議員連盟は、外環の整備促進に向け連携を図り、今年度の事業の遅れを取り戻し、来年度の事業を着実に進めるため、平成二十二年度の予算において、用地買収などに必要な事業費を確保するよう強く求める。

右、決議する。

平成二十一年十二月十五日

東京外かく環状道路(関越道～湾岸線)整備促進連絡会議
東京都議会外かく環状道路建設促進議員連盟